

# 資源循環型のサプライチェーン

IBMブロックチェーンを活用し、リサイクル素材(コバルト、銅、アルミ、鉄、プラスチック等)のサプライチェーンを可視化することで、資源循環社会の実現を加速

Covid-19が世界に与えた影響により、ビジネス環境は大きく変容し、企業経営も「ニューノーマル」の時代へと突入してきました。パンデミックを起点に、昨今の自然災害・気候変動から、「サステナビリティ」意識が高まり、CO<sub>2</sub>排出を抑制した社会システム構築が加速しています。特に海外では自社製品のリサイクル率を高め、循環型社会(サーキュラー・エコノミー)を実現する仕組みに先行して着手しています。弊社ではブロックチェーンの技術を活用し、資源循環型のサプライチェーンを実現するプラットフォームの構築を支援します。

## こういったことでお悩みではありませんか？

自社素材のリサイクルを促進するために、リサイクル材の安全や、同材の使用の証明、真正性(データ改ざんがないこと)の確保が必要

サステナビリティが経営の重要課題となり、顧客企業から環境貢献型製品の要請が拡大

## IBMブロックチェーンを活用した資源循環型のサプライチェーンが解決します

- 資源循環の流れを可視化し、自社のリサイクル素材のトレーサビリティ(追跡可能性)を証明
- SDGsへの目標達成に貢献し、持続的に企業価値・社会価値が向上

## デジタル変革後の姿

### As Is ...

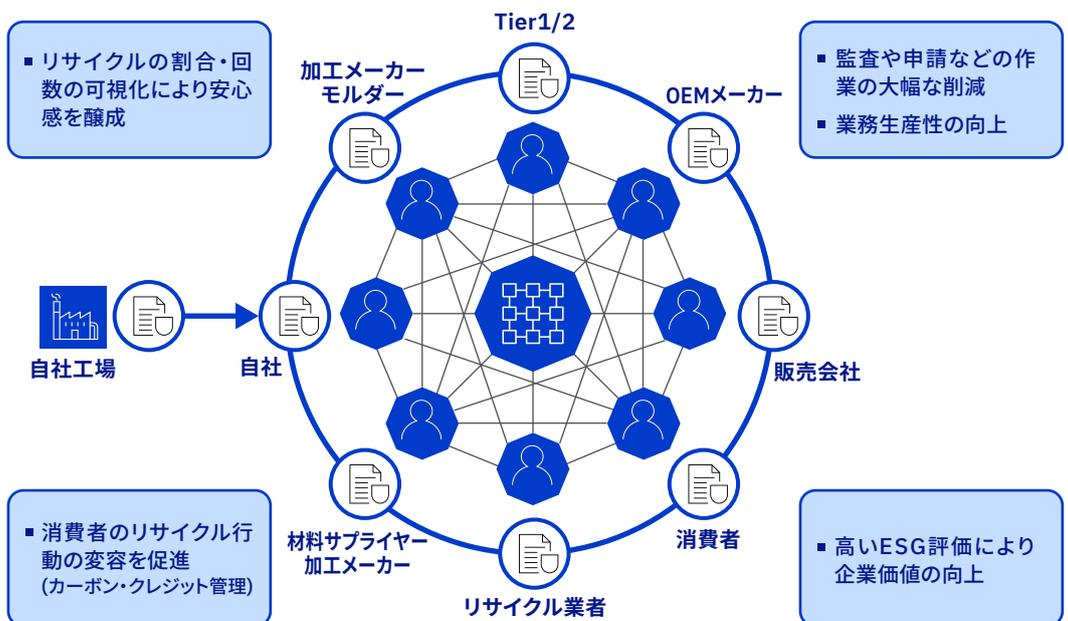
#### 線形のサプライチェーン

- 従来のサプライチェーンの最終は、埋立て/焼却であり、循環型ではない
- 持続可能なサプライチェーンに関する社会的な価値認識が低い

#### マニュアルでの循環取引

- リサイクル素材の材料価値の保証が難しい
- サプライチェーン上のプレイヤーが多岐に渡り、リサイクル素材のトレーサビリティ・改ざん防止が難しい

リサイクル素材の製造工程から、販売、回収、解体、リサイクルという全段階のイベント情報を収集し、資源循環型のサプライチェーンを実現



お問い合わせ ▶▶ [https://ibm.biz/japan\\_service](https://ibm.biz/japan_service)

### 日本アイビーエム株式会社



IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Garageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> (US)をご覧ください。この情報は2021年3月現在のものです。掲載の内容は予告なく変更される場合があります。